

Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

蛇と男に翻弄された 稀代の怪女優 毛利郁子の妖艶な 演技が蘇った

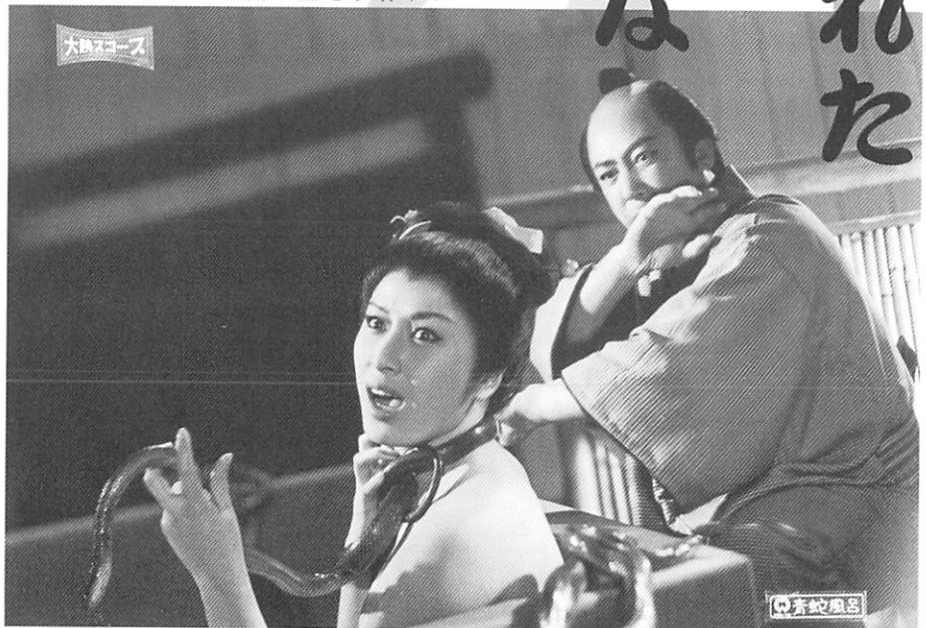
「ボルターガイスト」で、子役の少女やスタッフの怪死が相次ぎ、話題となった事がある。ホラー映画の裏話として崇りめいた噂が時折、ささやかれる。だが、主演女優が撮影直後に殺人事件を起こしてしまったという、前代未聞の怪談映画と事件が日本に存在するのだ。
大映京都撮影所の「化け猫」シリーズ最終作「秘録怪猫伝」の主演女優が、撮影を終えた69年12月14日、身もつ

た子供を認知しない愛人を姦殺して刺殺。愛人は自分を刺した女優をかばって、「自殺」と言い続け吐血多量で死亡。愛人の妻も、不実な夫の放蕩ぶりに苦しめられており、加害者である女優に同情的で、裁判では「寛大な処置」を願っている。
翌年の正月映画として公開された「怪猫伝」は、事件への好奇心もあって大ヒットした。渦中の女優の名

は毛利郁子。郁子は自室に蛇を放し飼いにしている程の蛇好きで、「蛇女優」と呼ばれていた。その一方で身長160センチ、体重50キロ、バスト96、ウエスト55、ヒップ92という肉体系で、美貌と妖艶の蛇女優を一躍スターに押し上げたのが、「白蛇小町」(55年)に始まる「蛇」シリーズだ。
郁子の裸体に本物の蛇がまとわりつく猟奇怪談は、「蛇映画」というジャンルを確立し、新風を吹き込んだ。

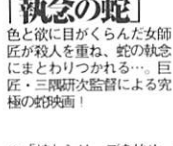
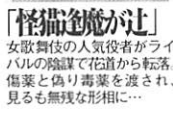
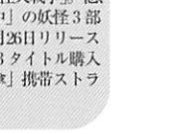
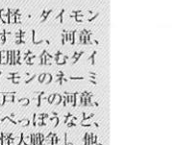
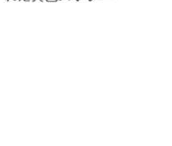
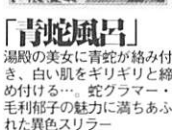
しかし、女優への道は決して平坦なものではなかった。四国の商家の娘として、何不自由なく暮らして来た郁子は、親戚が大分の別荘で営むホテルでフロント係として働く。当時19歳の郁子は全国温泉美人コンテストに優勝。しかし、それが災いとなった。郁子の美貌に目をつけたヤクザに拉致・強姦され、福岡・中州のクラブで働かされる。ヒモとなったヤクザの暴力に耐えかねた郁子は、福岡を仕切るヤクザの親分に頼んで縁を切ってもらおうが、その親分の妾とならざるをえなくなり、極妻として2年を過ごす。

その頃、大映の新人募集を知り福岡を脱出。見事テストに合格し女優となった郁子は共演した俳優と京都で同棲男の子を出産し結婚の直前、俳優の母親が強硬に反対し、結婚も出来ず子供も奪われてしまう。傷心の郁子の前に現れたのが、後に刺殺される愛人であった。



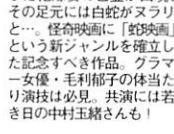
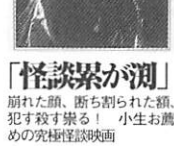
そんな郁子が起こした事件だけに、マスコミは「蛇女優・痴情の果ての殺人」と、単なる女優による事件以上にセンセーショナルな報道をした。

以来、封印され続けて来た「蛇」シリーズ。昨年LD・BOX「怪談封印箱」(大映ビデオ)にて、「執念の蛇」のみがソフト化となった。そして今回、ついに全篇の全作ビデオ化が決定。京都が生んだカルト中のカルト・伝説の蛇シリーズの封印が解かれた日が、ついに訪れたのである。郁子は事件後、女優を引退、結婚し平穏な生活をおくっているという。



特典は
から傘ストラップ!
「妖怪大戦争」他、
シリーズがDVDで
リリース決定

江戸時代、バビロニアの吸血妖怪・ダイモンが日本に襲来。それを知った油すまし、河童、から傘など日本妖怪軍が、日本征服を企むダイモンと大戦争を繰り広げる。ダイモンのネーミングはデーモン(悪魔)から。江戸っ子の河童、関西弁の油すまし、九州弁のめっぺっぼうなど、お馴染りの妖怪たちが可愛い「妖怪大戦争」他、「妖怪百物語」「東海道お化け道中」の妖怪3部作が大映ビデオよりDVDで7月26日リリース決定。各4700円(税抜き)。3タイトル購入特典として、闇夜で光る「カラ傘」携帯ストラップが買えるぞ!



「執念の蛇」
色と欲に目がくらんだ女師匠が殺人を重ね、蛇の執念にまどわりつかれる…。巨匠・三隅研次監督による究極の蛇映画!

「怪猫伝」
女歌舞伎の人気役者がライバルの陰謀で花道から転落。傷薬と偽り毒薬を渡され、見るも無残な形相に…

「怪猫五十二次」
忽然と消え去った女の死体。天井からしたる血、棺桶からのそく女の生首、どこかで猫の鳴き声が…

「青蛇風呂」
湯殿の美女に青蛇が絡み付き、白い肌をギリギリと締め付ける…。蛇グラマー・毛利郁子の魅力に満ちあふれた異色スリラー

「怪談累が淵」
崩れた顔、断ち割られた額。犯す殺す衆! 小生お講めの究極怪談映画

「白蛇小町」
雷雨の中、恐ろしい形相をした花嫁姿の亡霊が出現。その足元には白蛇がヌラリと…。怪談映画に「蛇映画」という新ジャンルを確立した記念すべき作品。クラマー女優・毛利郁子の体当たり演技は必見。共演には若き日の中村玉緒さん!

※「蛇」シリーズを始め、大映ビデオより今回、初ビデオ化の怪談映画が6タイトル発売。定価は各3800円(税抜き)

「妖怪伝・さくや」に伝わる 伝統の「隠し味」

伝統とは人が伝えるだけでなく、土地や物が大きな役割を果たす。そんな実感を与えてくれる料理屋が、大映通りにある「冠太」だ。このおかみさんは女優・川崎あかねさん。川崎さんは大映京都撮影所生んだ「妖怪大戦争」のヒロインとしてデビュー。この映画に少年時代、多大な感銘を受けたのが「さくや」の原口智生監督。

いわば原口監督の映画界入りの契機となったとも言える「妖怪大戦争」。原口監督は京都に仕事の折りは必ず冠太を訪れて、幼い日の感動を川崎さんに語った。もちろん小生も「妖怪大戦争」は心の映画。「怪」其の貳「隠神だぬき」で川崎さんにご出演願ったのも実はそれが理由。

川崎さんと、ご主人・奥野博さんは共に地元生まれの地元育ちで幼なじみ。撮影所に囲まれた町内会で、映画の全盛時代に育ち、友人や知人は今も現役で活躍する映画人が多い。

映画が生活の一部として、自然に溶け込んでいくという事が実感させられる町。「冠太」で古き良き時代の「映画人生」を看に、ひとときを過ごすのは映画ファンには最高の贅沢だ。



川崎あかねさんとご主人の奥野博さん。二人は町内会の幼なじみ。原口監督は「妖怪大戦争」で日本妖怪と戦う外町妖怪・タイモンの人形を川崎さんにプレゼントしたとか。



「冠太」(京福電鉄帷子ノ辻下車・大映通り商店街)お昼の日替わり弁当(800円)は絶品。ぐじ飯と饅頭司が名物。TEL.075・861・1255(月休・日は無休)



ゆふゆふ劇場公開! 「怪」其の巻「七人みさき」

WOWOWオリジナルドラマとして話題となった「怪・七人みさき」がファンのご要望にお応えし、オン・エア版をバージョン・アップ。15分長いディレクターズ・カット版を8月12日より劇場公開。東京は渋谷シネパレス、大阪は梅田シネマアルゴで上映される。高怪な筑紫殺人、箱の中の不気味な女!。おなじみの主役3名に加え、藤田まことや夏八木勲、小松政夫など、豪華客演による京極ワールドを大スクリーンでとくとく堪能あれ!



落ち着いた店内。カウンター越しにご主人の話を着にするの。店内にはお座敷があり忘年会など宴会も出来る。



「仕事人」が アクション・ フィギュアで見参!

大手ガレージ・キット・メーカーの海洋堂より、「必殺仕事人」シリーズのアクション・フィギュアが発売されるという情報!。まずは中村主水・藤田まこと、組紐屋の竜(京本政樹)、三味線屋の男次(中条きよし)、花屋の政(村上弘明)を発売。現在発売中の「部長刑事」相原部長(京本政樹) 携帯ストラップに続いて、「必殺」キャラも商品化が予定されている。今回は製作中の原型をご紹介します。完成が楽しみな逸品だ。

今月の冒険

「七人みさき」の劇場公開も、本誌発売の12日後。準備の頃より考えると、自分が企画を手掛けた作品が大スクリーンで上映されるなど夢の様だ。未だに自分の出演場面には赤面し、うっわいしてしまう。出来るだけ劇場に足を運び、観客のみなさんと共にスクリーンを見つめたい。

2000年8月1日 山田誠二



責任編集人 山田誠二
1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。